

## 教授会議事要録

1. 日 時 平成22年7月8日（木）15：00～15：49
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 福田所長ほか32名
4. 欠席者 4名

議事に先立ち、議長から、5月1日付けで加齢研の兼務教授となり、今月から教授会に出席することになった教授の紹介があり、次いで同教授から挨拶があった。

### 5. 議 事

#### ○ 議事要録の確認

平成22年6月10日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

#### ○ 審議事項

##### （1）教員の人事について

議長から、資料2により、教員の兼務等について諮り、これを承認した。

##### （2）加齢医学研究所脳磁計測システム運営委員会内規（案）について

議長から、平成21年度補正予算で措置された脳磁計測システムの利用に関し、資料3のとおり、運営委員会内規を制定し運営することについて諮り、これを承認した。

また、運営委員会委員、管理委員会委員の構成について提案があり、これを承認した。

##### （3）トリノ工科大学（イタリア）との大学間交流協定の締結について

議長から、資料4により、世話部局の原子分子材料科学高等研究機構から依頼があった、トリノ工科大学との大学間学術交流協定の締結について諮り、これを承認した。

なお、構成員から、同大学では加齢研に神経科学領域での共同研究を期待しているとの報告があった。

また、構成員から、6月29日（火）にミラノ・ビコッカ大学（イタリア）の教授が訪問し、加齢研と部局間学術交流協定を締結することを検討しているとの発言があった。

##### （4）その他

なし

#### ○ 報告事項

##### （1）各種委員会報告

① 議長から、資料5-1により、部局長連絡会議・懇談会（6月15日（火）開催）の主な議事内容について報告があった。

② 評議員から、教育研究評議会（6月15日（火）開催）の主な議事内容について

て報告があった。

- ③ 議長から、運営会議（7月1日（木）開催）の概要について報告があった。
- ④ 財務員会委員長から、委員会で検討した加齢研での省エネルギー対策の取組について、資料5-2により報告があった。

なお、これに関連し議長から、8月12日（木）から17日（火）までの間事務室を閉鎖するとの報告があった。

- ⑤ 環境・安全管理担当責任者から、次のとおり報告があった。
  - 1) 廃液及び排水の管理に関する講習会を、7月23日（金）に開催するので各分野等の安全衛生担当者は出席願いたいこと。
  - 2) 未登録の放射性物質がないか6月末まで調査を依頼していたが、未提出の分野等は提出願いたいこと。
- ⑥ 構成員から、生命科学研究科教授会（7月7日（水）開催）について、次のとおり報告があった。
  - 1) 分子生命科学専攻の教授候補者を決定したこと。
  - 2) 修士課程の受験希望者が、今年の122名から90名に減ったので、原因について検討したが、研究科が独自に実施する英語試験に加え、TOEICの試験を課したことが問題ではなかったかの結論になったこと。
- ⑦ 構成員から、医工学研究科教授会（7月7日（水）開催）について、次のとおり報告があった。
  - 1) テニユア・トラック教員へのテニユア資格付与について審議したこと。
  - 2) 東北大学グリーンマテリアル研究科構想について意見交換を行ったこと。
- ⑧ 遺伝子実験センター長から次のとおり報告があった。
  - 1) 平成22年4月1日から、遺伝子組換え実験室設置が承認制となり、既存の実験室については設置再申請を6月末日まで行うこととしていたが、加齢研からはまだ半分程度しか申請していないので、実験ができなくなる恐れがあるため、申請期限を7月23日（金）まで延長するので必ず申請すること。
  - 2) ISTUによる遺伝子全学教育訓練の受講が可能となったので、まだ受講していない者は来年3月までに受講すること。

## (2) 専任教授会報告

議長から、専任教授会（7月8日（木）開催）については、特に報告する事項がないとの発言があった。

## (3) 平成22年度加齢医学研究所研究助成金採択者の決定について

研究推進委員会委員長から、資料6により、研究助成金申請者の審査方法及び採択者について報告があった。

なお、採択者には別途文書でも通知するが、助成の趣旨に沿って適正に使用するとともに、3月8日（火）に研究発表会を実施するので指導願いたいとの発言があった。

## (4) 平成22年度寄附金（第1四半期）の受入れについて

議長から、資料7により、寄附金の受入れ状況の報告があった。

## (5) 職員の兼業について

議長から、資料8により、職員の兼業について報告があった。

(6) その他

- ① 構成員から、生命科学研究科で、研究者海外派遣基金助成金（組織的な若手研究者等海外派遣プログラム）に採択されおり、若手研究者をイギリス、ヨーロッパに派遣できるので、希望がある場合は、同構成員に申し出願したいとの発言があった。
- ② 議長から、特定非営利活動法人良陵協議会から5万円の寄付依頼があったので、昨年同様教授会費から寄付したいとの報告があった。
- ③ 議長から、バイオインフォマティクス研究分野（兼務）の新設について検討しているとの報告があった。  
これに関連し構成員から、この分野の中心的存在となると考えている情報科学研究科教授の講演会を、7月27日（火）の午後4時から開催するので出席願いたいとの発言があった。
- ④ 議長から、次回教授会は9月9日（木）午後3時から大会議室で開催するとの報告があった。

以上